



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより

令和 5年 2月 21日

第 23 号

<学校の先生以外の方に教えていただく授業です>

2月10日、4年生は、目の不自由な方とともに過ごす暮らしを体験しました。講師は生駒市福祉センターの職員さんです。介助する側とされる側を両方体験して、



介助の仕方の難しさと、視覚障害の方の触覚、平衡感覚、聴覚の鋭敏さに気づきました。

2年生は国語科で「スーホの白い馬」というモンゴルの物語を学習しましたので、2月16日にモンゴル出身の春蘭さんに来て



いただき、国土の様子や遊牧生活についてお話を聞きました。地平線が見える大地、一年に3度の引っ越しを繰り返すために作られている住居の仕組み、ヤギや牛や馬との暮らしを子どもたちは興味深く聞き、馬頭琴の音色に感動していました。

2月21日は1年生が昔の遊びを地域の方々に教えていただく予定です。年末の凧揚げでは上手に凧を揚げられず、また、使った後の凧の終い方が分からなくて友だち同士で凧を絡ませてしまいました。そのことを知った民生委員さんや老人会の皆さんが、「小学生に遊び方を教えよう。」と言ってくださり、17人ほどの方が来校されます。学校の先生以外の方がこのように子どもたちの教育活動に関わってくださることを大変うれしく思います。

<2/16 不審者侵入時の避難訓練を実施しました>

今から22年前に大阪の小学校に刃物を持った人物が侵入し、1年生と2年生8人の命が奪われました。学校で一番若い低学年の子どもたちが狙われ襲われた信じられない事件です。むやみやたらに身の回りの大人を怪しんではいけません。おかしいな、怪しいぞと思ったら大声で助けを求めて素早く逃げる…そんな訓練を行いました。写真は1年生教室で、ベランダ側に集まって身を潜めている子どもたちです。



<低・中・高学年ごとに最後の授業参観を行いました。>

低学年は教室で、この一年でできるようになったことを発表しました。たくさんの保護者の皆さんが見守る中、一人で発表するのはとても勇気の要ることですが、大きな声で堂々と発表し、たくさんの拍手をもらったことは「できた！ やれた！ すごい！」と自分で自分のすばらしさに気づく素敵な機会になったと思います。

3年生はリズム縄跳び発表会でした。「勇気100%」の音楽に合わせてグループ毎に縄跳びの振付や隊形を考えます。縄跳びが得意な子もいれば苦手な子もいますので、折り合いをつけてみんなが納得できる振付にしないとけません。それが難しかったと思いますが、保護者の皆さんの手拍子で「勇気100%」にな



った3年生でした。

4年生は環境問題について班ごとにテーマを絞り、ポスターセッション形式で発表しました。同時に全てのブースで発表しますので、他の班とは一味違う話術や内容で観客を魅了しなければなりません、ど

の班もレベルの高い発表でした。

5年生は一年間の行事や出来事、学習や高学年としての活動を振り返り、その思い出を発表しました。「5年生になって、学校に来るのが楽しくなりました。」「6年生になったら、今の6年生のように、委員会活動で年下の5年生に教えてあげようと思います。」等、この1



年が充実していたことがよく分かる内容で、最後はリコーダー演奏で締めくくりました。

6年生は合唱と器楽合奏をしています。6年生全員で取り組むことを小学生の最後に見てもらいたいという学年集団の思いがあり、個別の発表形式ではな

く、音楽の学習の総まとめとしての発表です。音楽会？と思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、学年で音合わせをしたのは2回しかなく、学級ごとの音楽の学習時間を大事にしました。合唱では、声変わりしている子がいる中でも高音がとてもきれいに響いていたことに驚かれたのではないのでしょうか。

参観日ということで、スマホやカメラの撮影禁止にご協力いただき、ありがとうございました。撮影いただけるのは運動会等の「〇〇会」「入学式・卒業式」になっており、その他の学校行事の撮影を拒まれるご家庭もありましたので、このような措置を取らせていただきました。ご協力ありがとうございました。